

## 第 53 回日本接着学会年次大会 出張報告書

作成日：2015 年 6 月 22 日（月）

文責：同志社大学大学院

理工学研究科機械工学専攻

構造工学（藤井・大窪）研究室 14M2 熊本 宗一郎

学会名：第 53 回日本接着学会年次大会

開催期間：2015 年 6 月 19 日（金）～20 日（土）

開催場所：愛知工業大学八草キャンパス 愛知会館他（豊田市八草町八千草 1247）

主催：日本接着学会

発表形式：口頭発表（質疑応答含め 20 分）

HP: <http://www.adhesion.or.jp/index.php>

発表研究題目：エポキシ樹脂中にサブミクロン繊維を添加した炭素繊維複合材料中の界面接着特性に及ぼす添加繊維の存在位置の影響

著者：熊本宗一郎，大窪和也，藤井透

私は、2015 年 6 月 19 日（金）～6 月 20 日（土）に開催された日本接着学会年次大会に参加しました。下記にその詳細を示します。

### 《愛知工業大学八草キャンパスへの移動》

新幹線に乗り（約 40 分）京都駅から名古屋駅に向かいました。名古屋駅にて JR 中央本線（東海）高蔵寺行（約 30 分）に乗り換えて高蔵寺駅に向かいました。高蔵寺駅にて愛知環状鉄道岡崎行（約 20 分）に乗り換えて八草駅に向かいました。八草キャンパスへの最寄り駅である八草駅に 9 時 28 分に到着しました。そこから駅前にあるバス停から、シャトルバスに乗り（約 5 分）9 時 40 分に八草キャンパス正門に到着しました。

### 《第 53 回日本接着学会年次大会への参加》

この第 53 回日本接着学会年次大会では、接着に関する発表が数多く発表されていました。これらの発表を公聴するとともに、私自身も 6 月 20 日にポキシ樹脂中にサブミクロン繊維を添加した炭素繊維複合材料中の界面接着特性に及ぼす添加繊維の存在位置の影響について発表しました。発表前から、すごく緊張していたためか、練習通りに発表することができませんでした。質疑応答では、質問に何とか答えることができました。答えられなかった質問には発表会終わりに個別で対応することができました。発表では学生発表の他に社会人や教授が発表していました。社会人や教授の発表及び研究内容は学生のものとは比べ物にならず、レベルの高い物であり議論も白熱していました。様々な種類の発表を公聴することができ非常に勉強になりました。

《会場からの帰宅》

行きと同様に愛知工業大学から徒歩で八草駅まで向かいました。そこから愛知環状鉄道及びJRを乗り継いで名古屋駅まで行き、新幹線で京都駅まで帰りました。

最後になりましたが、このような素晴らしい機械を与えてくださった藤井先生、大窪先生および当研究室の皆様に深く感謝いたします。



Fig.1 愛知工業大学八草キャンパス



Fig.2 名古屋で食べたひつまぶし



Fig.3 発表の様子



Fig.4 表彰式の様子